

小さくても元気で明るい輝きのあるまち

No.500

2012

11月

町報

こうふ



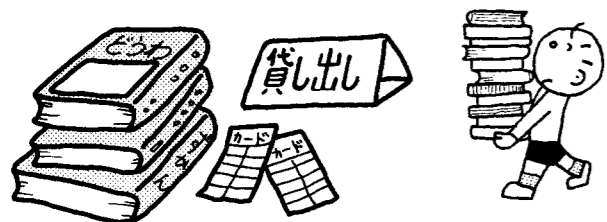
アロハ！この素敵な笑顔で
みんなを魅了。

■11月3日(土)町文化祭でフラダンスを披露

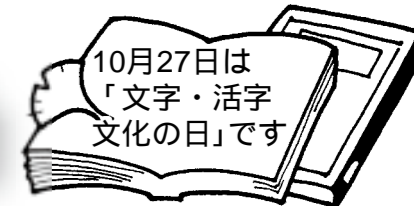
今月号の 主な内容

- 特集「朝の読書運動」をバックアップ
読み聞かせボランティア ……………2~3
- がんばっています。女性消防団員 ……………4
- 児童虐待防止推進月間です ……………6
- まちの教育 ……………8~12
- 農業委員会だより ……………13
- くらしの情報 ……………15~18

- まちの人口 3,369人 (-1)
男 1,574人 (+1)
女 1,795人 (-2)
- 世帯数 1,125世帯 (+1)
10月末現在 () は前月比



心豊かな子どもを育てる朝の読書運動



「朝の読書運動」をご存知ですか？「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本を読む」「ただ読むだけ」4つの原則に子どもたちが読書の楽しみや喜びを体験することへのきっかけとなっている運動です。



読み聞かせボランティアが「朝の読書」をバックアップ

「朝の読書運動」は、原則として毎朝8時20分から35分までの15分間行い子ども達は図書室で借りた本や、学級文庫の本、家から持参した本など、思い思いの本を選んで読書します。週に一度、木曜日だけ「読み聞かせの日」になり、読み聞かせボランティア数名と小学校職員が各教室で絵本のみ読み聞かせを行います。読み聞かせの本は読み手に一任されており、学校側から特定の図書を推薦されたり、否定されたりすることはありません。各自で聞かせたいお話、触れてほしい本を探し、各年齢に合うかどうかなどを吟味しながら選書します。子ども達に伝えたいこと、感じてほしいこと、本のおもしろさ…。様々な点から本を選ぶことは難しいと感じることもあると思います。しかし読み聞かせでの子ども達の反応・とりわけ、本にあまり興味のなさそうな子が、物語の展開に驚き、喜び、笑顔になる瞬間は、読み手にとっても何よりの楽しさを感じるそうです。「子どもたちは、週に一度のよみ聞かせをとっても楽しみにし、木曜の朝になると、今朝は誰が自分の教室に来てくれるだろうと、図書室に貼ってある予定表を見に来ますよ。」とは、学校図書室にお勤めの三輪さん談。



ワクワクドキドキ。絵本の魅力がいっぱい！今日はどんなお話かな（江府小学校にて）



小さな子どもが大好きな手あそび歌リズムに合わせて言葉を楽しく学びます

子ども達に素敵な本との出会いのために

江府小学校・中学校でも「朝の読書運動」が行われ、子ども達の読書推進に大きな役割を担っています。この読書活動の時間に子ども達へより良い本を届けたいとボランティアに取り組んでいるみなさんがいることは、あまり知られていないことも知れません。小学校での「読み聞かせボランティア」についてご紹介します。



絵本は心をつなぐ魔法の扉！そっと開いて・読んで・聞いて・楽しんで！（子供の国保育園での読み聞かせ）

読み聞かせボランティアも成長

「初めて読み聞かせボランティアに参加したときは、何を読めばいいのか分からず、自分が昔から好きだった絵本を持っていきました。子どもたちが喜んでくれたのが嬉しくて、気がつけばもう何年も続いています。次に読み聞かせをする本を探すために、本屋さんや図書館へ通うことがすっかり習慣になりました。子どもたちのための本だけでなく、いろいろな本に出会う機会が増えて、自分のための勉強にもなります。」とボランティア活動を始めて3年の竹内さん。

読み聞かせの日は、学校図書館や町立図書館で、子ども達の「あの本ありますか？」の声がよく聞かれるそうです。読み聞かせで出会った本との再会を足がかりに、子どもたちの更なる読書活動へと発展して欲しいと思います。

「読み聞かせボランティア」は、いつでも新メンバーを募集しています。興味のあるかたは江府小学校へご連絡ください。

77・2220

がんばってます。女性消防団員

10月7日(日)「江府町防災の日」に併せ、栗尾集落で、火災が発生した場合に迅速かつ的確に初期消火活動が行えるよう、女性消防団員が指導して消火栓を活用とした消火訓練をおこないました。高津分団長は、「まだ結成して半年余りの女性消防分団ですが、今後は全集落で消火栓取扱い訓練活動を予定しており、救急講習会などの研修の機会を重ね、町民のみなさんが安心して生活が送れるように頑張つて活動していきたい。」と抱負を語られました。

今後広報活動、予防指導、災害弱者対策などの部門で女性の能力を發揮した活躍が多いに期待されます。



▲参加した女性消防団員 (左側から中尾さん・高津さん・吉川さん)



▲点検確認!

平和を祈り厳かに挙行

江府町戦没者並びに 殉職者慰霊祭

殉職者慰霊祭

10月16日(火)、江府町山村開発センターで江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭が仏式により挙行されました。戦後67年が経過し、戦争で犠牲となつた戦没者・殉職者ご遺族の方と共に、先の大戦で尊い犠牲となられた方の霊を慰め、引き続き平和で豊かな社会となるよう祈りをささげました。町遺族会の森田会長は、遺族を代表し「戦争の記憶が風化される中、私たちは二度と戦争を起こしてはならない、という原点を決して忘れることなく、戦争を知らない世代に戦争から得た教訓と平和の尊さを語り継ぎ、引き続き平和で心豊かに暮らせるよう尽力します。」と述べられました。当日は、遺族をはじめ69名が参列し、303柱の御霊の前で黙とうをささげ、参列者全員で焼香を行いました。



▲焼香をする遺族のみなさん

スポーツを通じて 笑顔で交流

江府町老人クラブ連合会主催の第33回江府町高齢者スポーツ大会が23日(火)、江府町総合運動公園体育館で開催されました。7地区の老人クラブから300人あまりが参加し、優勝を目指して頑張りました。

開会式で、川上博久

大会長は「これからの私たちは歳を拾い、PPK(ピンピンコロリ)・MMK(モテテモテコロリ)を目指し、一人でも多くの仲間をつくり、また、今日はスポーツを通じて笑顔で楽しい一日にしてほしい。」と挨拶。その後、子供の国保育園児による元気な太鼓演奏のあと、競技が開始。

カード合わせで同じカードを持った保育園児と参加者が手をつなぎいち早くゴールに向かつて走る子供の国保育園児との合同種目「ともだちみつけた」では、大きな拍手と歓声に包まれ、ボーリング競争や玉入れ競争、関所破り競争など点数をとる競技では熱戦を展開し、会場は多に盛りあがりました。総合得点で325点の米沢Aチームが優勝しました。



▲保育園児との「ともだちみつけた」

スポーツ大会結果
優勝 米沢Aチーム(325点)
準優勝 米沢Bチーム(260点)
3位 江尾Bチーム(200点)



おいしい味・香り・

景色に大満足

奥大山旨いもん祭2012

10月27日

(土) 28日

(日)、秋晴

れの澄み渡る

空と奥大山自

慢の紅葉のな

か、地元食材

を生かした自

慢の料理や特

産品を販売す

る第3回「奥

大山旨いもん

祭」が奥大山

スキー場で開催され、多くの観光客などで賑

わいました。オープニングイベントでは江府

町天神ばやし太鼓保存会のみなさんが力強い

太鼓を披露し、活気満載のオープン。11店舗

が出店し、販売スタートと同時にたくさん

の人だかりが出来ていました。



賑わった奥大山旨いもん祭

出店者のみなさん

江府町食生活改善推進協議会・コスモスの会・美宝堂・夢作り工房やコブの杖・美用レデイースグループ・おかもと旅館・江府町商工会青年部・みちくさ推進会議・SAC中尾椎茸屋・カフェテリアアペゼ・地元農家

町の特産品を西ノ島町へ

経済交流協議会

10月27日(土)、「山

と海の交流」として、

姉妹町の盟約を結んで

いる島根県西ノ島町で、

江府町西ノ島町経済交

流協議会総会が行われ、

昨年度の活動内容や今

後の活動について活発

な意見交換が行われま

した。

翌日には、西ノ島町

観光交流センターで

「イカ・マグロまつり」

が開催され、お互いの

大自然で育まれた特産

品を持ち寄り、交流を

図りました。江府町か

らは、大根・白ねぎ・

トマトなどの新鮮野菜

や味噌・ブルーベリー

ジャム・トマトケチャ

ップなどの加工品、お米を販売。毎回好評の新鮮

野菜は販売30分で完売となり、西ノ島町の多くの

方に喜んでいただきました。11月には江府町で開

催される「JA米まつり」「とっとりパーガーフ

エスタ2012オータムフェア」に西ノ島町から

参加され、今後ともますます交流を深め、地域の



厚生労働大臣表彰を受賞

江府町食生活改善推進協議会

11月1日(木) 2日(金)、石川県金沢市で

開催された第43回全国食生活改善推進員団体

連絡協議会大会において、江府町食生活改善

推進協議会が栄養関係功労者として厚生労働

大臣表彰を受賞されました。同協議会では、

子供と保護者、男性や高齢者など地域のあら

ゆる世代の食生活改善を目指して講習を開催

したり、また郷土料理や伝承料理の普及にも

努めてこられました。

谷口歌子会長は、「このような賞をいただ

くことができたのは創立当初から現在に至る

まで実践活動してきた推進員の仲間、関係機

関の方々のお陰です。今後も「私たちの健康

は私たちの手で」をスローガンに、生活習慣

予防活動にと実践を重ねていき、次の世代に

つなげていきたいと思えます。」と話されま

した。



谷口会長を中心に笑顔の食生活改善推進員のみなさん



11月は児童虐待防止推進月間です

「気づくのは あなたと地域の 心の目」

児童虐待とは

身体的虐待	殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレイト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(ドメスティック・バイオレンス：DV) など

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで！

乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんがなにをやっても泣きやまないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣きやまないからといって、激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられたり、頭を叩かれたりするような大きな衝撃を与えられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。どうしても泣きやまない時は、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を離れ、まず自分をリラックスさせましょう。



虐待を受けたと思われる子どもがいたら。

ご自身が出産や子育てに悩んだら。

子育てに悩む親がいたら。

「虐待では？」と思ったら

あなたのまわりに、「虐待を受けたと思われる子ども」がいましたら、すぐに次の相談(通報)先に連絡ください。

問い合わせ先
役場福祉保健課
休日、夜間の場合は役場
米子児童相談所

75 - 6111
75 - 2211
0859 - 33 - 1471

問い合わせ先
福祉保健課 保健係

(75 6111)

ワクチン接種による効果がでるまでに2週間程度を要しますので、12月中旬までに接種することをすすめます。

助成を受けることができます。ワクチン接種による効果がでるまでに2週間程度を要しますので、12月中旬までに接種することをすすめます。

1月～2月に流行のピークをむかえるインフルエンザを予防するため、今年も町民の皆様を対象にインフルエンザ予防接種の費用助成を行います。10月末に集落の健康推進委員さんを通じてまたは、郵送にて受診券(助成券)をお配りしています。使用期間は10月15日から1月31日までです。受診券(助成券)とあわせて、券が使用できる医療機関も明記しておりますので、選んで接種してください。助成による接種が行える医療機関で接種したにも関わらず、受診券(助成券)を使用せずに接種した場合は(2回目接種も含む)、領収書と予防接種済証の写しを添えて、福祉保健課にて申請を行うと助成を受けることができます。

お知らせ

インフルエンザ
予防接種について



「愛の血液・助け合い運動」にご協力ありがとうございました！

鳥取県・日本赤十字社鳥取県支部では、7月1日から31日までの1か月間を「愛の血液・助け合い運動」月間と定め、すべての血液製剤を国民の血液によって確保するため、献血に関するご理解とご協力を求めるとともに、継続的な献血運動を図ることを目的に事業推進をおこなっています。

今年度は、運動月間と重なりませんでした。10月10日（水）に午前中は役場、午後はサントリー天然水㈱奥大山ブナの森工場を会場に、全血献血を実施しました。ご参加いただきました30名の皆様、ご協力ありがとうございました。

全血献血の基準（平成23年4月1日から基準が変わっています。）

献血の種類		200ml 献血	400ml 献血
1回の採血量		200ml	400ml
年齢	男性	16歳～69歳	17歳～69歳
	女性		18歳～69歳
体重	男性	45kg以上	男女とも50kg以上
	女性	40kg以上	
最高血圧		90mmHg以上	
血色素量	男性	12.5 g/dl以上	13 g/dl以上
	女性	12 g/dl以上	12.5 g/dl以上
年間採血回数	男性	6回以内	3回以内
	女性	4回以内	2回以内
年間総採血量	男性	200ml献血と400ml献血を合わせて1,200ml以内	
	女性	200ml献血と400ml献血を合わせて800ml以内	

65歳から69歳までの方は、64歳までに献血の経験がある方に限られます。



なぜ、献血は必要？

血液は人間が生きていく上で必要な成分です。これが体から一定以上の量が失われると命を落とすことになりま。また、血液の持つ機能が正常に働かなくなると病気になったりもします。

大きなけがなどによる大量出血や血液の病気を治すためには、血液を材料とした製剤（血液製剤＝薬）が必要になります。しかし、現在の科学では人工的に血液を造ることはできません。また、血液は生きた細胞なので、長期間にわたって保存ができません。

そのため、製剤が必要な患者さんにいつでも十分に提供するためには、健康な皆さんの献血への協力がたくさん必要となります。



献血に関するお問い合わせ先

鳥取県赤十字血液センター 電話：0857(24)8101

同センター日吉津出張所 電話：0859(27)1724

食改おすすめ

チャレンジクッキング

11月

歳をとると、身体機能の低下とともに、知らないうちに食生活のバランスが崩れて低栄養に傾いていくことがあります。低栄養になると体力や免疫力が低下するので要注意です。

低栄養を予防するためにはバランスの良い食事が大切です。食事の時にはごはん（主食）と野菜のおかず（副菜）だけでなく、必ず蛋白質の多いおかず（主菜）も食べるように心がけましょう。

（食生活改善推進協議会）

豚しゃぶヨーグルト味噌ソースがけ

材料（4人分）

豚もも肉(しゃぶしゃぶ用)	240 g	ヨーグルトソース	
トマト	1個	プレーンヨーグルト	100 g
水菜(レタス)	120 g	味噌	小さじ2
長ネギ	60 g	砂糖	小さじ1
さけるチーズ	60 g	ゆずこしょう	少々

作り方

- ① トマトは半月切り、水菜は5cm長さに切り、長ネギは5cm長さの細切りにする。
- ② 豚肉はお湯にくぐらせ火を通し、水気を切っておく。
- ③ ヨーグルトソースの材料を混ぜておく。
- ④ さけるチーズは細くさいておく。
- ⑤ 器に①の野菜と、②の豚肉、さけるチーズを盛り付け③のソースをかける。



1人分 エネルギー 185kcal
カルシウム 202mg 塩分相当量 1.0g



人権コーナー 和い輪いひろば②

人として人権が保障されて生きること、そして動物として命をつなぐこと。そのどちらが欠けても人としての人生をまっとうすることができません。だからこそ、周りの生きとし生けるものすべてのものに心からの敬虔な感謝の思いを持たねばと今更ながら考えさせられた、今月のお便りです。

もう一度「いただきます」について考えてみよう

ヒトは食物連鎖の頂点に立ち、当然のように色々な生物の恩恵を受けながら生命を維持しています。けれども、私たちは、日々の生活に追われ真の「いただきます」を忘れていないでしょうか。

今回は『日本一心を揺るがず新聞の社説』水谷もりひと著（みやざき中央新聞編集長）ごま書房新社出版から、抜粋で次の文を紹介します。・・・『心をこめて「いただきます」「ごちそうさま」を』

食肉加工センターの坂本さんの職場では毎日たくさんの牛が殺され、その肉が市場に卸されている。牛を殺すとき、牛と目があう。そのたびに坂本さんは「いつかこの仕事をやめよう」と思っていた。

ある夕方、牛を乗せた軽トラックがセンターにやってきた。しかし、いつまで経っても荷台から牛が降りてこない。坂本さんは不思議に思って覗いてみると、十歳くらいの女の子が、牛のお腹をさすりながら何か話しかけている。その声が聞こえてきた。

「みいちゃん、ごめんねえ。みいちゃん、ごめんねえ・・・」

坂本さんは思った、「見なきゃよかった」

女の子のおじいさんが坂本さんに頭を下げた。「みいちゃんはこの子と一緒に育てました。だけん、ずっとうちに置いとくつもりでした。ばってん、みいちゃんば売らんと、お正月が来んとです。明日は宜しくお願いします・・・」「もうできん。もうこの仕事はやめよう」と思った坂本さん、明日の仕事を休むことにした。家に帰ってから、そのことを小学生の息子のしのぶ君に話した。しのぶ君はじっと聞いていた。一緒に風呂に入ったとき、しのぶ君は父親に言った。「やっぱりお父さんがしてやってよ。心の無か人がしたら牛が苦しむけん」しかし坂本さんは休むと決めていた。翌日学校に行く前に、しのぶ君はもう一度言った。「お父さん今日は行かなんよ！（いかないといけないよ）」坂本さんの心が揺れた。そしてしぶしぶ仕事場へと車を走らせた。牛舎に入った。坂本さんを見ると、他の牛と同じようにみいちゃんも角を下げて威嚇するポーズをとった。

「みいちゃん、ごめんよう。みいちゃんが肉にならないとみんなが困るけん。ごめんよう」と言うと、みいちゃんは坂本さんに首をこすり付けてきた。

殺すとき、動いて急所をはずすと牛は苦しむ。坂本さんが「じっとしとけよ、じっとしとけよ」と言うと、みいちゃんは動かなくなった。次の瞬間、みいちゃんの目から大きな涙がこぼれ落ちた。牛の涙を坂本さんは初めてみた。（『いのちをいただく』西日本新聞社刊より）

本の紹介を兼ねて書かせていただきました。

ペンネーム 気持ちだけが若いおじいさん

…このコーナーでは、みなさんからの投稿をお待ちしています。教育委員会人権同和对策室までお寄せください。



予告1

12/5 (水)

第38回江府町人権・同和教育研究集会

研究主題 同和教育をはじめ様々な人権問題は、自分の問題であり、みんなの問題であることを認識し、その解決のために自らが一歩を踏み出そう。そしてみんなとつながろう。

講演 落語家 桂 文福さん 腹話術師 千田やすしさん

笑いの中に人として生きる大切な示唆をお話いただきます。乞うご期待！

予告2

現役パパ&キッズ専門スポーツクラブが伝授する

パパをもっと楽しむ講座開催します！

日時 平成24年12月9日(日) 午前10時から12時20分まで(受付は9時30分から)
 場所 日野町山村開発センター(日野町根雨130-1)
 対象 満2歳以上の未就学児とパパ(ママも一緒に参加OK)定員30組(申込み多数の場合は抽選)
 内容 [第1部 講演]~ブログやSNSで人気の現役パパによる講演~
 タイトル 「子育ては人生最大のエンターテインメント」
 講師 松本誠二さん(米子市在住、(有)スバル代行社長)
 [第2部 講座]~キッズ専門スポーツクラブの指導による体操教室~
 タイトル 「子どもの運動感覚を楽しく磨こう」
 講師 ちゃれきんぐ株式会社(鳥取市の子ども専門体操教室)
 参加費 無料
 申込み 0859-75-2005 江府町教育委員会 人権同和对策室
 申込締切 平成24年12月3日(月)
 主催 日野郡男女共同参画連絡会 共催 日南町、日野町、江府町、鳥取県日野総合事務所

平成24年度たんぼぼ学級閉講しました



皆勤賞(全7回に参加) 精勤賞(7回中5回以上参加)
 川端 孝子さん 手島 征夫さん
 上原美千代さん 川端 一美さん
 生田 志保さん 森田 哲也さん

おめでとうございます



藤原教育長総括 7月17日から始った「たんぼぼ学級」は全7回予定どおり行うことができました。これも昼間のお仕事疲れのある中、お越しいただいた皆様のおかげと感謝しております。

1回、2回の講座では東日本大震災をテーマにした講演を聞き、今年度の小地域懇談会が「災害と人権」ということもあり学習したことを活かすことができたらと思っています。

今年度のフィナーレを今までとは違うかたち「歌」で締めくくっていただきました。皆さんの印象に残ったのではないかと思います。

参加者の意見 (詳しくは「たんぼぼだより」に掲載しています。)

- ・運動や学習をすることで人と人がつながることの大切さや素晴らしさを感じることができた。
- ・毎回、なにかを持って帰ることができました。来ることができなかった人たちに少しずつでもこの素晴らしさを伝えていけたらと思います。
- ・来年以降もがんばってください。
- ・今年は参加者が少なく寂しかった。とても素晴らしい会なので多数参加してもらえる工夫が必要。
- ・話し合いがない方が気負わず参加できて良かった。

学校お助け隊だよ

学校お助け隊は、大きく分けて3つの領域で学校支援を行っています。通学支援、環境整備支援、そして学習支援です。

通学支援は、4月～7月、主に小学1年生の下校時の安全見守りをお願いしています。環境整備支援では、小中学校の除草作業や小学校のプール掃除支援などをお願いしてきました。

学習支援については、保育園・小学校において定期的に読み聞かせに行っていたりしており、子ども達も楽しみにしているところです。そのほかにも、運動会での裏大山小唄やこだいち踊りなど、地域の伝統芸能の指導もしていただきました。

昨年からは「九九の聞き取り」という学習支援を始めました。これは、小学校の二年生がかけ算九九を学習する際、地域の人に九九を聞いて頂くことで、子ども達のやる気を引きだそうというものです。普段出会うことの少ない地域

の方に聞いてもらうと言うことで、子ども達もとても張り切り、楽しんで九九を覚え、覚えることができました。



がんばって九九を唱えます（昨年度）

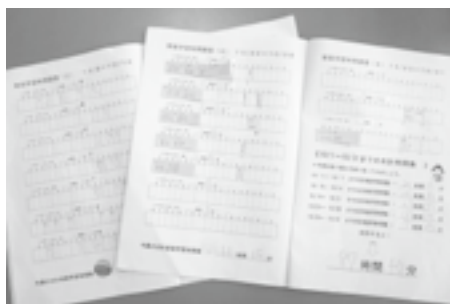
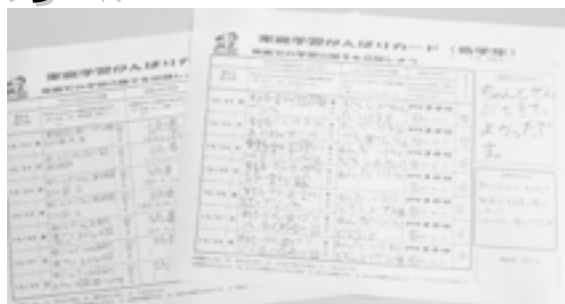
今年も、時期になりましたので、九九の聞き取り支援を実施したいと思えます。11月の上旬と下旬、午後1時半～2時頃で実施を予定しています。専門的な技能は必要ありません。学校支援に関心をお持ちの方、ぜひご参加いただき、子ども達の学びを支えていただければと思います。

【お問い合わせ先】

学校支援地域本部事務局
(75) 2223

保・小・中連携だよ

家庭学習、がんばっています！



中学校は、生徒が常に意識できるように、玄関などにポスターを掲示しています。

学習記録（左：小学校、右・右下：中学校）

毎日の学習内容を記録し、自己反省を書いたり保護者の方にコメントを書いてもらったりして学校に提出します。

学校での学習内容を確実にしたり、授業をより理解しやすくしたりするためにも、家庭学習は学力の基礎となる大切な学習です。江府中学校では、5月、10月、2月と年3回「家庭学習強化月間」と称して、全校をあげて家庭学習に力を入れて取り組んでいます。江府小学校でも、小中連携の一環として、この強化月間に併せて、「家庭学習強化週間」を実施することになり、10月に第1回を実施しました。

両校とも、毎日の学習記録を残し、自分がどれだけがんばれたかを振り返るようにしています。また、保護者の方にもコメントを書いていただくよう、家庭にも協力をお願いしているところです。

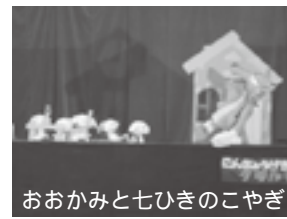
先月の町報でもご紹介しましたが、江府町の子供も達は、宿題にはまじめに取り組むものの、予習・復習など自主的に取り組む学習がやや弱いという傾向があります。この取り組みによって、家庭学習への意欲が高まり、自ら学ぶ姿勢に繋がればと思います。

小学校低学年は30分、中学年は45分、高学年は60分、中学生は2時間が目標時間となっています。家庭や地域でも、励ましの声かけをよろしくお願いします。



人形劇の話に一喜一憂する園児たち

ました。
子供の国保育園では、情緒豊かな園児に育ってもらおうと人形劇の上演を行っています。
園児たちは人形劇の世界に入り込み、驚いたり、笑ったりと楽しいひとときを過ごしました。



おおかみと七ひきのこやぎ

10月30日、子供の国保育園で人形劇の「瓜子姫とあまんじゃく」と「おおかみと七ひきのこやぎ」が上演されました。

ここにこ
事業

子供の国
保育園で人形劇



パフォーマーがダブルダッチを披露

10月15日、江府小学校で「なわとび教室」がありました。
「なわとび教室」の開催は、たくましい江府っ子に育ってもらおうと計画されたものです。
当日は、パフォーマーにより「単なわとび」と2本の「なわ」を使って飛ぶ「ダブルダッチ」が、児童の前で披露されました。
子どもたちは、「6重跳び」など曲芸にも見える巧みな「なわとび」の競演に驚いていました。
今後、江府小学校での「なわとび」が子どもたちの健康づくりの一助となることが期待されています。

ここにこ
事業

なわとび教室
(江府小)

カーニー先生のほのぼのコラム③

Hello, everyone,

It's getting cold! Are you excited for winter? I have never seen snow, so I can't wait to see it. There's nothing better than sitting wrapped up in your blankets with a cup of hot tea or cocoa.

A few days ago, Kofu Junior High School had its Bunkasai. It was the first one I've ever seen, and I was impressed. The students did an amazing job preparing for these two days. All the students' plays were entertaining, the band was absolutely amazing, and everyone seemed to enjoy themselves, which is always very important. We don't have bunkasai in America, so it was very different. I also saw "Kagura" performed for the first time, and it was spectacular. I have never seen a play or dance quite like that, and I honestly believed the dragons on stage were real creatures set to perform before us all. It was breathtaking.

To tell you the truth, today is actually Halloween. Halloween is very popular in America. People dress up in costumes and go to their neighbors' houses. Some popular costumes are vampires, witches, ghosts, pirates, and other things. After dressing up, they go to their neighbors' houses and knock on their doors. Then the children say, "Trick or treat!" and the neighbors give them candy. Children come home with tons of candy by the time the night is over. It's always fun! But children still have to go to school on Halloween and the day after Halloween (if it's a weekday). See you next month! Connie

こんにちは、みなさん!

寒くなってきましたが、冬が来るのをわくわくしながら待っていますか? 私は雪を見たことがないので、早く見たくて、とても待ち遠しく思っています。それと、冬と言えば、毛布にくるまって熱いお茶かココアを飲むのが最高ですね。

さて、数日前に、江府中学校で文化祭がありました。文化祭を見るのは今回が初めてだったので、とても感動しました。生徒たちは、この二日間のためにものすごく準備を頑張っていました。生徒たちの劇は楽しかったですし、吹奏楽も驚くほどすばらしかったです。全員が楽しんでいるように見えたのですが、そのことが大切なんだと思いました。アメリカには、こういった文化祭はありませんが、そこは大きく違う点です。それと、神楽を初めて見ましたが、それは壮観なものでした。そのような劇や踊りを見たことが無く、正直に言って、ステージの上で演じている大蛇は、本当に生きているものではないかと思えるくらいで、息を飲むようでした。

実を言うと、今日はハロウィーンですが、アメリカではとても一般的な行事です。人々は、いろいろな衣装を着て隣人の家に行きます。人気のある衣装は吸血鬼、魔女、幽霊、海賊などです。それらを着こんでから隣人の家に行き、ドアをノックするのです。子どもたちは「トリック・オア・トリート! (お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!)」と言いながら近所を回り、近所の人たちはそんな子どもたちにキャンディーをくれます。子どもたちは、一晩でたくさんのキャンディーをもらって家に帰るのです。実に楽しいものです。ただし、ハロウィーンの翌日が平日の場合は学校に行かなければなりません。

では、また来月! カーニーより



2012 江府町文化祭



20年以上の歴史のあるアイリス合唱団



カレーショップ（江府町青年団）



大正琴



島根県西ノ島町(姉妹町)のマグロを直売（JA江府支所前）



さくらグループ



あやめ会

10月27日から始まった江府町文化祭は、11月3日、防災・情報センターを中心に音楽・芸能発表会を行いました。当日は、晴天に恵まれ会場内は多くの来場者で賑いました。



はつらつ運動教室



リズムトレイン江府教室



展示された作品は力作揃い（防災・情報センター）



フラダンス教室



日野川子ども太鼓（子供の国保育園児）



太極拳クラブ



江府小学校（5、6年生）の合唱

『農地パトロールを実施』 大切な農地を守ろう

江府町農業委員会では10月から11月までを農地パトロール月間と位置付け、遊休農地の実態把握、農地の違反転用の調査などを目的とした農地パトロールを実施しました。

10月15日には、江府町山村開発センター前で、竹内町長、川上副議長、JA江府支所など関係者約40名が参加し農地パトロール出発式を行いました。川上会長から「農地は私達の大切な財産しっかりと状況を把握



農地パトロール出発式



農地パトロール（下安井地内）

し有効活用しましょう」と挨拶、町長からは、「この農地パトロールを踏まえ一層の農地の利用拡大に繋がっていただきたい。」と激励されました。この後小椋農地部長から農地パトロールの実施方法の説明があり農業委員、関係者全員「がんばろう！」の発声で出発しました。

協力機関はJA江府支所、日野農林局（県）、伯耆農業共済、農林課で農業委員の担当地区ごとに7班に分かれ一班3人体制で町内全域のパトロールを実施し、地図を片手に一筆ごとに調査をしました。

今年の調査は昨年までの遊休農地調査リスト分と水田自己保全実績算入分を主に見て回りました。

遊休農地のうちで山林原野化している農地と基盤整備により営農再開可能農地と簡

易な作業で営農再開可能農地とに分けて調査確認をしました。

岡野農場により再生した遊休農地もありましたが、新たに遊休化した農地も多くあり、中には、ほ場整備田で、後継者が無く遊休農地化したところがあり、担い手の対策は待たなしと感じました。

今後遊休農地の発生を抑制し農地の再生へとつながる方策を農業委員会の課題として取り組んで行くこととしています。

農業委員会総会（9月） 保留

農業振興地域整備計画の変更について
承認

非農地証明の申請 1件
農用地利用集積計画 5件
秋の農作業賃金決定について

農業委員会総会（10月） 審議案件すべて承認

農業振興地域整備計画の変更について 1件
非農地証明の申請 8件
農用地利用集積計画

11月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成24年11月30日（金）

午後1時30分から4時まで

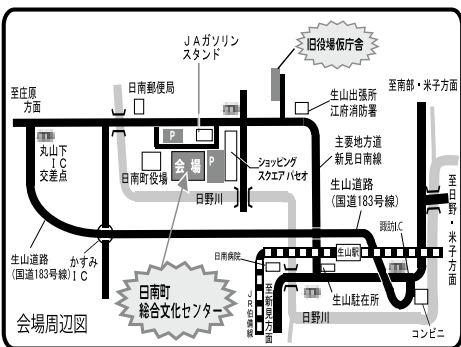
◎場所 山村開発センター

このページは日南町、日野町、江府町、日野総合事務所が連携、共同して情報発信しています。
 (鳥取県日野地区連携・共同協議会実施事業)
 今回は、日野郡内のおすすめ観光スポットとして、日南町の情報をご紹介します。

第10回にちなん食のバザール



「にちなん食のバザール」は日南町内で生産される新鮮で安全な野菜や肉類やそれらを使った加工品を皆様にお届けしようと、平成22年の秋にスタートしました。このバザールは町内20以上の地域の有志や企業で構成される「にちなん食のバザール実行委員会」が主催・運営しています。日南町総合文化センターのエントランスと野外イベント広場を会場に日南町内で採れた新鮮野菜や牛肉などを通常の価格より安く提供するほか、手打ちそばや炊き込みご飯、餅、漬物といった加工品などを販売しています。町外、県外からの来場者も回を重ねるごとに増え、去る10月20日、21日に開催した第9回目において、初日の朝、通算延べ来場者数2万人を達成しました。



「にちなん食のバザール」も次回の12月2日の開催で、10回目を迎えます。バザール開催日には、いろいろな企画やサプライズイベントも計画中です。皆さんのご来場をお待ちしています。詳しい情報は決まり次第、日南町のホームページや日野郡3町イベントカレンダー(日野総合事務所ホームページ内)、新聞折り込みチラシなどで随時情報を発信していきますので、こちらもご確認ください。

日時 12月2日(日) 10:00～14:00
 会場 日南町総合文化センター(エントランスホール、屋外イベント広場)
 問い合わせ先
 にちなん食のバザール実行委員会事務局
 (日南町役場企画課内)
 電話 0859(82)1115

日南町では、まちの旬な情報を集めたメールマガジンを毎週発行しています。日南町ホームページまたはQRコードから登録する事ができますので、こちらもチェックしてみてください。

問い合わせ先
 日南町役場 企画課
 0859(82)1115

雪の季節がやってきます！

除雪作業にご理解とご協力を



今年も雪の季節が近づいてきました。

町では、積雪量がおおむね15cm以上観測されたときに除雪車が出動します。

みなさんの快適な暮らしを守るため、きめ細かな除雪に努めますが、スムーズな除雪作業を行うためには町民のみなさんのご理解とご協力が必要です。

一人一人が生活や交通のルールとマナーを守り、安全な冬をすごしましょう。



除雪車に近づかないで！

作業中の除雪車に近づくことは大変危険です。特に子どもは、運転席から見えないこともあります。絶対に近づかないでください。



道路の障害物は危険

車庫前などの道路に、鉄板や木材、縁石などの障害物を置かないでください。除雪作業の障害や除雪車の事故の原因になり、危険です。



路上駐車は除雪の大敵

路上に車両が駐車されていると、除雪作業を中断することがあります。救急車など、緊急車両の通行の妨げにもなりますので、路上駐車はしないでください。



路面状況に応じた運転を

気象状況に応じて、坂道や交差点などに凍結防止剤を散布していますが、急激な気象の変化には対応できないことがあります。路面状況に合わせて安全運転を心がけてください。

歩行型除雪機は、正しく安全に使いましょう

近年、自宅周辺等の除雪に歩行型除雪機を利用する人が増えています。機械を使うときには、使用者の責任において、正しく安全に作業しましょう。

- 作業を行う前に取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- 雪詰まりを取り除くときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って作業しましょう。
- 発進するときは、転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物に十分注意しましょう。
- 作業中は、雪を飛ばす方向に人や車がないことを確認し、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

今シーズンの除雪体制の詳細は、11月下旬に行う「除雪会議」で決定します。除雪業務関係者のみなさんは、いつ降るかもしれない雪に備え、昼夜関係なく過酷な業務に就いています。町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先 建設課 ☎75-3306

あんしんトリピーメールに登録しませんか。

あんしんトリピーメールに登録すると携帯電話等で鳥取県内の安心・安全情報メールが受信でき、気象情報、地震情報、緊急時の公共交通機関情報等の情報が自動配信されます。
※メールの送受信等に必要な通信料は利用者の負担になります。



欲しい情報が選べます

気象警報・注意報、地震情報(震度3以上)、津波情報、防犯情報、防災・危機管理情報(避難勧告など)、安心安全イベント情報 など

登録方法

登録にあたっては、次の手順に従って行ってください。

STEP

次の登録用アドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。
E-tottori-safe@xpressmail.jp



QRコード

バーコードの読み取り機能のある携帯電話をお持ちの場合、QRコードからメールを作成することもできます。

STEP

メールが返信されてくるので、このメールを開き、記載されたアドレスへインターネット接続します。

STEP

表示された画面に従い、必要項目を入力します。

農薬は正しく使って事故防止

西部地区市町村の池、水路、川などで大量の魚が死んでいたという事故が発生し、川などに流された農薬が原因になった可能性があります。農薬の適正使用にご注意ください。

農薬を使う前に、必ずラベルを確認する。

散布後は器具を良く洗浄する

- ・タンク・ホース・噴口(ノズル)の中に薬液が残りやすいので、濁った水が出なくなるまで十分に洗い流す。
- ・器具などを洗浄した水は、排水路や河川などに直接排水することを避け、適正に処理する。

農薬の(飛散)を防ぐ

- ・散布作業は、風の強くない日・時間に行い、風向き等に十分注意する。
- ・近所間・家族間などで、「いつ、どこに、何を散布するか」などの情報交換を日頃から行う。

鳥取県西部医師会一般公開健康講座 ～診察室ではなかなか聞けない耳寄りな話～

糖尿病はわが国の死因の上位を占める心筋梗塞、脳梗塞の原因となり、また人工透析の最大の原因疾患です。これらの合併症を防ぐには、40代、50代の糖尿病を厳重に管理する必要がありますが、糖尿病は重症であっても症状がないことが多く、放置され易いのが実情です。

日時 11月15日(木) 午後2時～3時30分

会場 米子市文化ホール イベントホール

内容 国民的課題 糖尿病の予防と治療～全ての国民が食事療法と運動療法を～

講師 富長将人先生 (富長内科眼科クリニック院長)

その他 駐車場は文化ホール、ビッグシップ、イオン共通の立体駐車場をご利用下さい。
駐車料金が無料となりますので、駐車券をご持参下さい。



集落に無償でお譲りします

旧俣野小学校の児童用机、いす、ロッカー、調理器具などを無償で集落にお譲りします。

希望者多数の場合は、抽選となります。

期日 平成24年11月25日(日) 午前9時30分集合

場所 旧俣野小学校体育館

問い合わせ先 総務課 ☎75-2211

※個人への譲渡はしません。運搬などについては集落でお願いいたします。

国民年金保険料のご案内を民間委託しています

日本年金機構では、国民年金保険料の納め忘れの方に対して、電話・文書・戸別訪問による納付のご案内や免除などの申請手続きのご案内を民間事業者へ委託しています。

委託事業者

日立トリプルウィン株(平成24年10月から)

問い合わせ先 ☎ 022-211-7401

タクシー利用者補助金制度のお知らせ

11月1日から町内在住の交通弱者の方が日交タクシー江府車庫、又は根雨営業所のタクシーを利用される場合、その料金の一部を助成します。

助成対象者について

- 身体障害者手帳をお持ちの方（一部対象にならない場合もあります）
- 療育手帳をお持ちの方（「A」のみ）
- 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（「1級」のみ）
- 介護認定証をお持ちの方
- 75歳以上で自動車の運転ができない方
- 65歳～74歳で町営バスなどの公共交通機関の利用が困難な上、自動車の運転ができない方



助成額について

メーター料金のうち、日本交通株負担1割、町負担4割（上限額 2,400円）を助成します。

○助成券は1か月あたり4枚として積算し、当該年度分をあらかじめ発行します。

（計算例）

メーター料金	2,000円の場合	6,000円の場合	10,000円の場合	
割引額	200円	600円	1,000円	日交割引1割
町助成額	800円	2,400円	2,400円	町助成4割 上限2,400円
利用者負担額	1,000円	3,000円	6,600円	

■申込み方法について

○町民生活課で申請手続きを行ってください。

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、介護保険証等をお持ちの方は申請時にご持参ください。審査の上、後日認定証と助成券を発行します。

問い合わせ先 町民生活課 ☎ 75-3223

ご存知ですか？「筆界特定制度」

筆界特定制度とは、裁判によらない境界紛争解決のための制度として、平成18年1月20日に施行され、今年で7年目となります。

この制度は、土地の所有者として登記されている人などの申請に基づいて、筆界特定登記官が、外部専門家である筆界調査委員の意見を踏まえて、現地における土地の筆界の位置を特定する制度です。

筆界特定とは、新たに筆界を決めることではなく、実地調査や測量を含む様々な調査を行った上、もともとあった筆界を筆界特定登記官が明らかにすることです。

筆界特定制度を活用することによって、公的な判断として筆界を明らかにするため、隣人同士で裁判をなくとも、筆界をめぐる問題の解決を図ることができます。

問い合わせ先

鳥取地方法務局登記部門2階 筆界特定室 鳥取市東町2丁目302番地 ☎ 0857-22-2258



指名手配被疑者の検挙にご協力を

平成24年8月末現在、全国の警察から指名手配されている者は、凶悪事件などで特に警察庁が指定している重要指名被疑者を始めとして、約900人に上がっています。この指名手配被疑者の発見に向けた捜査活動には、国民のみならずのご協力がぜひとも必要です。指名手配被疑者によく似た人を見かけたといった情報など、どんなわずかなことでも結構ですので、警察に通報していただくようお願いします。

問い合わせ先 黒坂警察署 ☎ 74-0110

情報満載！2013年版鳥取県民手帳販売

好評の16か月ダイアリー（今年12月から再来年3月）に附録として、アドレス帳・暮らしの便利資料付きの鳥取県民手帳を販売します。さらに、江府町の主要職員録や問合わせに便利な執行機関等の資料が付いて1冊600円です。

- ◎サイズ：14cm×8cm
 - ◎価格：1冊 600円
 - ◎数量：ブラック70冊
- 問い合わせ先
総務課 電話 75-2211



必ずチェック最低賃金！ 使用者も、労働者も

鳥取県最低賃金額	発効年月日
1時間 653円	平成24年10月20日

- 鳥取県最低賃金は、業種や規模及び常用、臨時、アルバイト・パートタイマーなどの雇用形態にかかわらず、県内の事業所で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。
 - 最低賃金には、次の賃金は含まれません。
 - ・精皆勤手当、通勤手当、家族手当
 - ・臨時に支払われる賃金
 - ・1月を超える期間ごとに支払われる賃金
 - ・時間外労働、休日労働及び深夜労働の割増賃金
- 問い合わせ先 鳥取労働局労働基準部賃金室
☎ 0857-29-1705

「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業」の参加企業を募集

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会では、圏域内のものづくり企業をはじめとする企業の連携と交流を促進するため、次の事業を実施します。

参加を希望される企業はお申込みください。

【シンポジウム】

日 時 11月20日(火)午後2時～5時

場 所 米子コンベンションセンター
国際会議場（米子市末広町294）

参加料 無料(ただし、事前の申し込みが必要です。)

申込方法 所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX、あるいは郵送でお申し込みください。申込用紙は、実行委員会専用ホームページまたは、米子市のホームページ (<http://www.city.yonago.lg.jp/>) からダウンロードしてください。

申込期限 11月13日(火)まで

申込み・問合せ先

中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会シンポジウム部会事務局(米子市経済部商工課内)
〒683-8686 米子市東町161-2 第2庁舎

☎ 0859-23-5219 FAX 0859-22-6106

♪江府町立図書館♪開館時間

平日 8:30～19:00

土日祝 8:45～17:30

☎ (75) 2005

新着図書案内

* 文学

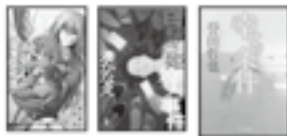
はなちゃんのみそ汁／安武信吾、千恵、はな
ソロモンの偽証(第Ⅱ部)決意／宮部みゆき

白ゆき姫殺人事件／湊かなえ

幸せの条件／菅田哲也

冥土めぐり／鹿島田真希

光圀伝／冲方丁



* 医学

血糖値を下げる毎日の献立／森野真由美

* 家庭生活

Farmer's KEIKO農家の台所／Farmer's KEIKO

節約&かんたん*冷凍保存大事典／牧野直子

シニアの楽々元気レシピ／本多京子

はかりいらすのふんわりパンケーキ／若山曜子

重曹とお酢でナチュラル生活／岩尾明子

ハーブ・アロマを楽しむナチュラルソープのつくりかた／梅原亜也子

* 産業

ハーブティー事典／佐々木薫

* YA (小学校高学年～高校生向き図書)

るろうに剣心-銀幕草紙変-/和月伸宏、黒崎薫

ピックアップ



『はなちゃんのみそ汁』安武信吾、千恵、はな
癌で余命わずかな母が、5歳の娘に遺したものの。「食べることは生きること。たくましく生きて」。生前のブログと、夫の手記で綴る感動作。



『光圀伝』冲方丁
何故この世に歴史が必要なのか。生涯を賭した「大日本史」の編纂という大事業。大切な者の命を奪ってまでも突き進まねばならなかった、孤高の虎・水戸光圀の生き様に迫る！



『冥土めぐり』鹿島田真希
裕福だった過去に執着し、借金を重ねる母と弟。一族の災厄から逃れたはずの奈津子だが、突然、夫が不治の病にかかる。だがそれは、奇跡のような幸運だった…。第147回芥川賞受賞作。

★公民館講座*特集★

公民館講座を受講していない方には、興味の窓口として。受講している方には、さらなるステップアップの一助として。今月は、江府町で開かれている公民館講座に関する書籍を特集します。どうぞご利用ください。

11月 NOVEMBER 行事カレンダー 12月 DECEMBER

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
14	水	公民館講座（書道）	防災・情報センター	13:30～15:30
		公民館講座（気功）	防災・情報センター	13:30～15:30
15	木	公民館講座（陶芸）	高齢者創作館	13:00～16:00
		明德学園	防災・情報センター	9:30～16:00
		もの忘れ外来	江尾診療所	受付 13:00～16:00
		補聴器修理相談会 （トーション補聴器センター）	総合健康福祉センター	13:30～15:00
		歯科健診・フッ素塗布	総合健康福祉センター	受付 年長・年中 13:00～13:30 年少・未満・未就園 14:00～14:30
		広域隣保活動（陶芸教室）	高齢者創作館	19:00～21:00
16	金	公民館講座（フラダンス）	防災・情報センター	14:00～15:30
		広域隣保活動（陶芸教室）	高齢者創作館	19:00～21:00
17	土			
18	日			
19	月	公民館講座（墨彩画）	防災・情報センター	13:30～15:30
20	火	公民館講座（パッチワーク）	防災・情報センター	13:30～15:30
21	水	公民館講座（大正琴）	防災・情報センター	10:00～12:00
		消費者相談	役場本庁舎	9:00～16:00
22	木	公民館講座（ヒップホップ）	防災・情報センター	19:00～20:30
		広域隣保活動（元気クラブ）	本町5丁目集会所	10:00～12:00
23	金			
24	土	公民館講座（和紙折紙）	防災・情報センター	13:30～15:30
		公民館講座（ガラスアート）	防災・情報センター	10:00～12:00
		広域隣保活動（パソコン教室）	本町5丁目集会所	10:00～12:00
25	日			
26	月	広域隣保活動（囲碁教室）	本町5丁目集会所	13:00～15:00
27	火	公民館講座（パッチワーク）	防災・情報センター	13:30～15:30
28	水	公民館講座（樹脂粘土）	防災・情報センター	13:30～15:30
		補聴器修理相談会 （中国補聴器センター）	総合健康福祉センター	9:30～11:30
29	木			
30	金	農地相談会	山村開発センター	13:30～16:00

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
1	土	広域隣保活動（パソコン教室）	本町5丁目集会所	10:00～12:00
2	日			
3	月			
4	火			
5	水	公民館講座（大正琴）	防災・情報センター	10:00～12:00
6	木	公民館講座（パッチワーク）	防災・情報センター	13:30～15:30
		もの忘れ外来	江尾診療所	受付 13:00～16:00
7	金	ぼちぼち倶楽部	総合健康福祉センター	13:30～15:30
8	土	広域隣保活動（パソコン教室）	本町5丁目集会所	10:00～12:00
9	日			
10	月	公民館講座（絵手紙・油絵）	防災・情報センター	13:30～15:30
11	火	公民館講座（パッチワーク）	防災・情報センター	13:30～15:30
12	水	公民館講座（書道）	防災・情報センター	13:30～15:30
		消費者相談	役場本庁舎	9:00～16:00
13	木	公民館講座（ヒップホップ）	防災・情報センター	19:00～20:30
		家族の会	総合健康福祉センター	10:00～12:00
14	金	広域隣保活動（元気クラブ）	本町5丁目集会所	10:00～12:00

《11月の納税は》

固定資産税 4期
国民健康保険税 6期
介護保険料 6期
後期高齢者医療保険料 5期

納期限は11月30日(金)です。（口座振替は11月30日）

今月の国民年金

納付期限 11月分 平成25年 1月4日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、左記期限が振替日です。

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

延申込件数 70件
(前月比+20件)

延寄付金額 95万円
(前月比+24万円)

平成24年 11月1日 現在

宮本市 森 光正 父 文雄 死去

本町四 徳岡 慎哉 父 和哉 死去

助澤 加藤 浩司 父 義弘 死去

武庫 梅林 英司 父 力水 死去

香典返しとして

荒田 小滝志津江 本人退院

尾之上原 藤原 一 本人退院

ご寄付 社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。（10月分）敬称略
見舞い返しとして

人の動き

ご結婚を祝します
永井 友貴 小江尾
継岩 悠里 日野町から
お誕生おめでとう

（住所）（氏名）（性別）（年齢）（世帯主）
 佐川 森田 優二 43歳 本人
 宮市 森 文雄 87歳 光正
 尾之上原 山本 千菜 女 裕隆
 武庫 加藤 恵美 女 周二
 （住所）（氏名）（性別）（年齢）（世帯主）
 本五 川上 千菜 女 裕隆
 ごめい福を祈ります

11月誕生 地域の宝物

(保育園編)

発行月に誕生日を迎えられる満5歳までのお子さんの写真を募集しています。住所・お子さんの生年月日・保護者氏名を記入のうえ、30字程度のコメントを添えて総務課まで郵送、持参、メールをしてください。



みずした ななみちゃん(4才)
ゆうぎしつをつみきでおともだちといっしょにあそぶのがだいすきです。

保育園での遊びで好きなこと



「第30回全国都市緑化フェア」が2013年の秋、鳥取県にて開催。20世紀製の帽子をかぶったとっとりフェアのマスケットキャラクター「花トリピー」がPRのため子供の国保育園に駆けつけ、園児たちと楽しいひとときを過ごしました。

フラダンス教室（公民館講座）の代表田本章子さんから一言



グループ活動を始めてはや6年目を迎えました。今年

は念願でした仲間が増え、うれしく思っているところです。「フラの魅力はただ踊るだけではなく、見ている方に何を訴えているのか伝わるように表現することが大切」とよく先生に言われながら、月に1回のレッスンを楽しみ、今はすっかりフラに魅了されています。今後もフラの素晴らしさを広め、癒しや感動を少しでも伝えていけたらと思っています。

メンバー紹介

- 田本 章子・加藤 敬子
- 梅林 美鈴・加藤 恭子
- 渡部 京子・堀田 典子
- 中尾由美子・森谷 静枝
- 筒井八重子・住田喜美子
- 生田 恭子・下垣 幸子

町長後記



11月になり朝晩めっきり寒くなりました。各家庭では、ストーブやコタツを利用して暖をとられているのではないのでしょうか。また、街中では、マスクをされた方を多く見かけます、風邪に十分注意をされて健康にお過ごしいただきたいと思っております。先日米子市において「心も体もリフレッシュ、元気で楽しく生きよう」の演題で県老人クラブ青山健康推進委員の講演を聴きました。その中で特に印象に残った事をお知らせします。1、一日に一回自分をほめる。10、一日に10回大声で笑う。100、一日に100回深呼吸をする。1000、一日に1000文字を書く（縦書きで）又は新聞を声を出して読む。10000、一日に10000歩（最低2000歩以上）歩く、このことを続けることが元気で長生きの秘訣だそうです。町民の皆様も挑戦してみてください。そして健康で楽しくすごしていただければと思います。

町いたしましたは、住民の皆様が健康でお暮らしいただけるよう今後も施策を推進してまいります。よろしくお願ひ申し上げます。



鍵掛峠（10月29日撮影）